

第2期港南区地域福祉保健計画 地区別計画中間振り返り特集

平成23年度から始まった第2期港南区地域福祉保健計画も3年目を迎えました。現在、区内15地区で、これまで取り組んできた様々な活動を振り返っています。各地区で地域活動に携わっている皆さんが集まり、これまでの活動を整理したり、今後の活動への展望などを共有しています。

第一弾！

今回は15地区のうち、永谷地区、芹が谷地区、野庭住宅地区、下永谷地区、野庭団地地区、大久保最戸地区、日野地区の7つの地区の振り返りの様子や、参加された方々の感想などを紹介します。

第2期港南区地域福祉保健計画ってどんな計画？

第2期港南区地域福祉保健計画は、「一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくる」という目標のもと、平成23年度から平成27年度までの5年間の取組の方向性をまとめた計画です。地区別計画と全体計画で構成されています。



ひまわりのわ



地区別計画

港南区は連合町内会単位で15の地区があり、それぞれの地区ごとに地区別計画を策定しています。

地区別計画には、地区ごとの特色や独自の課題が反映され、「自分たちの地域がこうなればいいなあ」「こういう活動を広げていきたい！」など、各地区の目標や取組が掲げられています。

全体計画 取組の方向性を8つのテーマで表しています。

地域全体のテーマ

テーマ1	活動の周知・情報共有
テーマ2	活動のネットワークづくり
テーマ3	担い手・人材の発掘
テーマ4	地域のつながり・交流の場づくり

分野・対象者別のテーマ

テーマ5	健康づくり
テーマ6	地域で高齢者の支援
テーマ7	地域で障害児・者の支援
テーマ8	地域で子育て支援・青少年育成

ながーく住みたいながや ～みんなで作ろう地域の和～

永谷地区

永谷地区は平成19年から一貫して、地域支えあいネットワークで、自治会・民生委員をはじめ様々な地域活動者が集まり、地域で直面している問題をテーマに情報交換・意見交換を行ってきた地区です。今回も、永谷地区で活動をしている地域の皆さんが集まり、これまで地区で行われてきた活動と地区別計画とを突き合わせながら、意見交換が行われました。

地域福祉保健計画が策定される前から行ってきた支えあいネットワークの流れが、そもそも計画の推進であったことを今回の振り返りで再確認できたと共に、これまでの取組が間違っていなかったことを確認できました。

地域の方から
出た意見を、
板書にとって
整理します。

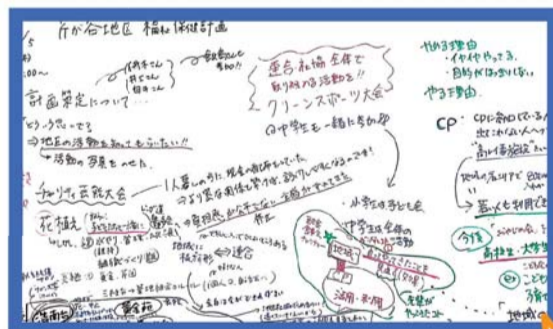


はなみち・さかみち・えがおのみち せりがや

芹が谷地区

日頃から、防災対策や要援護者対策につながる住民同士の顔の見える関係作りを行ってきた地区です。これらの活動のひとつひとつが、芹が谷地区の地区別計画である「はなみち・さかみち・えがおのみち せりがや」につながっているということが、今回の意見交換に参加した皆さんの中で実感できたようです。さらに、振り返りを行ったことで、時代に合わせた計画の見直しと、多くの人に参加できるような仕組みが必要だという認識も得られたようです。

芹が谷地区は、「皆でひとつのことに向かって」と年1回クリンスポーツ大会を行ったり、



参加者の声
「青年部を作りたい」という何年もの思いを、振り返りの場で伝えることができました。

振り返りの板書の一部

たくさんの取り組みが行われたことがわかります。

のばじゅうマップ

～手をつなごう思いやりの輪～

ための行事を行ってきました。また、各自治会で趣向を凝らし、花植え運動や高齢者サロン、転倒防止器具の設置などを行ってきた地区です。今回の振り返りの場で数多くの活動を振り返り、やってあげる人とやってもらう人という関係でなく、「どっちがどっちだかわからない関係性」が互いの垣根をなくす第一歩だと再認識したようです。

野庭住宅地区

野庭住宅地区は、地域福祉保健計画が策定されるずっと前から、野庭住宅連合夏祭りや野庭住宅福祉フェスタなど、連合自治会・地区社協が一体となって住民の交流やふれあいを大切にしている地区です。



地区別計画策定時の資料を見て、振り返りに役立てることも。



参加者の声

- 今後も活動を継続していくためには、地域の中での後継ぎを探さねばと思いました。
- 活動を続けていくには、活動者が楽しいと感じることが大切だと思いました。